

『2021年 日本民間放送連盟賞  
テレビ部門 中部・北陸地区 教養部門』

ドキュメンタリー「チョコレートな人々」  
1位通過で中央審査へ

日本民間放送連盟賞 テレビ部門 中部・北陸地区審査会が開催され、報道・教養・エンターテインメント部門の3部門で審査が行われました。

今回の中部・北陸地区審査会の教養部門には、各局から全16作品が出品され、東海テレビ制作のドキュメンタリー番組「チョコレートな人々」(今年3月27日放送)が1位で通過し、8月19日(木)に行われる中央審査に進むことになりました。中央審査では各地区1位の計7作品から、最優秀1作品、優秀6作品が選ばれます。

なお、中央審査の結果は 9月16日に正式決定され、発表される予定です。

<番組内容>

愛知県豊橋市に本店がある「久遠チョコレート」。世界のカカオを使った美味しいチョコと、おしゃれなデザインで人気だ。今では、東名阪の百貨店の催事の常連となった。年間売り上げは10億円。北海道から九州まで工場と店舗は51拠点あり、全従業員約500人のうち、約300人は心や体に障がいがあるスタッフ(2021年3月現在)。2020年10月は神戸店、札幌店、豊田店、11月には小江戸川越店、12月は福岡直方店、大阪北新地店と出店ラッシュだ。最近はシングルマザー、不登校経験者など多様な人たちが働く場にも。スタートは2003年、豊橋市の花園商店街で、当時26歳の夏目浩次氏と障がいのあるスタッフ3人らが立ち上げた小さなパン屋だった。「障がいがあっても稼げる場所を作りたい」と様々な業種を立ち上げては失敗もしてきた。7年前、トップショコラティエ野口和男氏との出会いからチョコブランドが誕生。チョコは失敗しても作り直せる食材で、障がいのあるスタッフの作業にぴったり、夏目さんの人生にも重なる。優しい社会を目指す青年は、陽気な髭のおじさんに。山あり谷あり、この17年を紹介する。

<出演者>

ナレーション:宮本信子

<スタッフ>

ディレクター:鈴木祐司(東海テレビプロダクション)

プロデューサー:阿武野勝彦(東海テレビ)

制作著作:東海テレビ